

花びと通信

No.35 2021年3月31日
花びと会ちば

【市民公開講座】開催日：2021年3月13日（土） 10：00～12：00

テーマ：漢方の健康観～食も人生計画の一つ～

講師：池上文雄さん（薬学博士・千葉大学名誉教授）

《講演概要》

- ・世界三大伝統医学とは、中国系医学、インド系医学、アラビア伝統医学がある。日本における漢方医学の歴史は中国で発達し、日本に伝えられた後に独自の発展をした医学。
 - ・健康とその基本 健康とは体の健康、心の健康、生活習慣の健康がある。基本になるのは、生活のリズム、バランスの取れた栄養摂取、適度な運動と十分な睡眠
 - ・古典から学ぶ健康一薬食同源と薬膳～薬と食事は同効果を持つという思想は中国伝統医学の根幹。
 - ・食べ物の性質～四気（五性）熱性、温性、平性、涼性、寒性。夏は寒涼性の、冬は温熱性の食べ物をとる。
 - ・春夏秋冬と陰陽五行説 ・伝統食品の薬用効果、発酵食品の効用
 - ・長寿のコツ：元気百菜豆一生
 - ・健康な食事～健康な心身の維持、増進に必要とされる栄養バランスを基本とする食生活が大事。
 - ・貝原養生訓：腹八分目、心の養生、むやみに薬は飲むな、薬より養生、服薬は慎重に、欲をこらえる、日々の生活を楽しむ、自然の生活を楽しむ、心の楽しみを知る、運動は健康増進のもと
- 《講演会に参加して》



子供の頃から大きな病気やケガをすることなく、今日までできました。講座のテーマを知った時、「漢方って何だろう」「自分には縁遠く、関係がない」と決め込んでいましたが、気にかかり、2月末に問い合わせたところ、「もうすでに定員50名をオーバーしています」との事。関心の高さにビックリしました。池上先生の講座は好評のようで、2016年の「身近な薬草」にはじまり、今回で3回目との事。豊富な資料とともに、漢方の話にはじまり、医学・薬草・健康・食事と多岐にわたり、あっという間に所定時間。特に印象に残っているのは、「健康は食事～食も人生計画の一つ」ということ。食事と健康の関係性・重要性でした。食事をバランスよく食べることが大切である。和食は究極の健康食である等々。毎日の何気ない食事について深く考えさせられました。あらためて家族のために食事を作ってくれる妻は、どんな気持ちで、食事内容を考えているのだろうかと思いました。今回は私だけの参加でしたが、「夫婦揃って」も十分ありえるお話でした。食事のことはもちろん、妻との共通の相互理解が深められていけるのではと思います。これからも長い人生を明るく、楽しく、元気で過ごしていけたらと思いました。

（一色康博）

令和3年度 総会・講演会案内

日時：4月14日（水）13：30～16：30

場所：生涯学習センター 地下 小ホール

【千葉公園蓮華亭 展示検討会】

花びと会ちばの活動場所のひとつ、千葉公園内の蓮華亭、ここでは毎年「大賀ハスマつり（古くは大賀ハスを観る会）」のメイン会場としてオープニングセレモニーや様々な演出を開催してまいりました。壁面の扉を全て開けると風通しも良く、毎年6月には大賀ハスやモノレールが一望できる状況にあり、素晴らしい施設です。しかしながら残念なのは、室内の展示が建てられた頃からのものが多く、大賀ハスについて興味を持っている人でもあまり展示物を観なくなっていることです。千葉市もそれを憂慮し、展示をリニューアルすることになり、蓮華亭展示検討会が花びと会ちばを中心に動き出しました。

令和2年9月28日にスタートした検討会は、仙波会長をはじめとする正副会長と、斉藤さん、一色さん、森さん、大槻さん、高梨さん、南先生と事務局の緑政課で構成され、5回目からは専門業者である中村展設の方々も参加、令和3年3月24日まで7回開催し、展示方法や展示の内容などを協議してまいりました。

新しい展示方法については、多くの委員が花びと会の行田へのバス研修に参加し、古代蓮の里の展示室などを視察していたので、それを参考にした意見もいくつか提案されました。大賀ハスに関してのレプリカを展示（できれば地下のレンコン部分も）、動画をプロジェクターで投影、詳しい説明はQRコードで、地図や年表はあった方がいい、映像展示は欠かせない、発見の物語をマンガで表現した本を展示するなど数多くの意見が出ました。展示の内容については、大賀ハスに関して専門性が高い人たちの集まりなので、非常に詳しい展示をするという意見も出ましたが、メインの対象者は「小学生・ファミリー層」など、あまり大賀ハスについて知らない人達に向けて、千葉市の花であること、2000年の歴史があること、検見川で種が発見されたこと、そして物語があることなど、動画やマンガなど現在の技術を駆使した表現で展示をして行くという方向性が整いました。

令和3年度以降の動きについては、予算のこともあるので詳細は未定ですが、コンテンツの制作などを皮切りに徐々に蓮華亭内の展示を整える方向になると思われます。

（樫浦敏彰）

【ミニ蓮栽培講習】 日時：2021年3月6日

わが小さな池に千葉公園のようにハスの花を咲かせたい。蓮華亭ならコロナも大丈夫そうだしということで夫婦で参加。希望者多数で後半の二部で十数人での受講だ。参加費を払い席に着くと土の入った青いバケツに小さな蓮根と肥料と数枚のカラーのテキストが既に用意され気持ちのいい会場だ。さっそく講師南定雄さんのミニハス鉢植え講習が始まる。まずは蓮の知識から「ハスと言えば中国」を強調される。久しぶりに学びの喜びを感じる。



南さんの「では、こちらに」の掛け声で皆さんと一緒に前に。そこには例の職人がセメントをこねる時に使う舟に待望の泥が、いよいよだ！ 集まった面々も一斉にのぞき込む。そしてバケツの泥に蓮根をつけ込む南さん「芽を傷つけないように」と指導に熱がこもる。受講者は「うんうん」と真剣な顔だ。これからだとその気になったが、結局我々が期待した泥まみれはなく全部南さんがやっちゃった！（笑）めでたく全員無事に？バケツを下げ千葉公園を後にした。帰宅後夢いっぴいの我々夫婦は「今年はこのバケツのままで」と妙に意見が合う。バケツの水位に印をつけ慎重に植え込んだミニハスは十日後の十六日に芽を出し一安心。この件で我々はまだ言い争いをしていない！ このまま無事開花して欲しい。

（森 あつし）

【花議連さんとの意見交換会】

千葉市議会の議員さんたちが超党派で結成する「花のあふれるまちづくり推進議員連盟（略称“花議連”）と花びと会とで毎年実施されている意見交換会が 11 月 5 日に開催されました。はじめに、大賀ハスマつりの会場となっている千葉公園内の「蓮華亭」の展示リニューアルについて討議され、花びと会ではすでにこれまで 3 回の検討会を実施し、展示方法もビジュアル重視として、SNS も活用して老若男女にわかりやすく入門的な内容にしたいことがまとまってきていることの報告に対し、学校教育を通じての大賀ハス発祥の理解を進めるためにも、情報発信の拠点とすべきとの意見が交わされました。次に、2022 年が大賀ハス開花 70 周年であるため、これを記念するイベントの開催について話し合われました。千葉市の市制 100 周年とも同期してプレイベントを行いたいとの本会会長の意見に対し、花議連のみなさんからは、コロナ禍もあり様々なイベントが規模縮小傾向にあるが、テレビ番組の誘致やオンライン化した「ハッサミット」なども視野に入れてみたらいかかとの建設的な意見がなされ、ざっくばらんな中にも真剣かつ実りある意見交換を行うことができました。最後に今後とも花議連のメンバー議員さんたちと我々花びと会とで協力して、この大賀ハスの文化を推進することを確認して時間となりました。（日野達弥）

【フラワーフェスティバルちば 2020】

10 月 13 日（火）から 18 日（日）まで、千葉市緑政課主催で三陽メディアフラワーミュージアムにて開催されました。当会は、様々な講習会やコケ玉販売、花カフェ等で参加協力をいたしました。翌日から始まるフラワーフェスティバルの会場入口に展示する花議連さんのコンテナ作品作りを 10 月 12 日（月）の午前中行いました。当日は、19 名の有志の議員の皆さんが集合され、区ごとに分かれて、当会が用意した 12 個のプランターにパンジー・ストック・シロタエギクをワイワイと和やかに作業をされておりました。その後、主役の大鉢 2 個にヤナギバ・ヒマラヤナンテンを中心にダリア・ガーデンシクラメン・スプレクトカーパス・サルビアなどを入れ、2 時間かけて完成しました。フェスティバル終了後は、市役所の議会棟入口に一週間程、展示させていただきました。



【花フェス・苔玉づくり雑記】

昨年 6 月下旬の大賀ハスマつりはコロナ禍で中止、苔玉づくりを楽しんでもらえませんでした。秋の花フェスどうなるかと思っていたら実施、苔玉づくりも組み込まれました。一日 20 名限定ではありましたが、一時コロナを忘れ、参加者と密に植物や花との関わりや好みなどの話を交え、苔玉づくりを楽しみました。おみやげが出来たと喜ばれる方もおりました。苔玉の主役はと問われ、植物の緑と苔の緑両方はよくばり？苔が主役はどこにでも生えている強さを持っていますが、いざ管理しようと思うと空中湿度の確保、日照などの加減が難しいものです。植物中心に考え、苔の緑はしばらくの間楽しみ、植物の成長とともに枯れてもしかたない、土のむき出し乾燥防止の役割ぐらいが無難だと思います。

昨年、講座に参加いただいた方のマイ苔玉いかがですか？冬が過ぎ、これから緑がはえる季節です。あまり過保護にしすぎないように大切にしてくださいと思います。また新しい苔玉づくりにテキストを参考にチャレンジしてもいいかもしれません。今年も機会をいただければ、大賀ハスマつり、花フェスなどで苔玉づくり講座を行う予定です。ぜひの参加をお待ちしております。一緒に楽しみましょう。（藤平 真一郎）

【会員研修 昭和の森・観梅】

「昭和の森. 研修会」に参加して
 コロナによる緊急事態、外出自粛が続きましたが、広い公園の自然の中なら・・・と参加。令和3年2月20日(土)当日は春の陽気、でも強風。昭和の森 斉藤久芳所長の案内で12名の参加会員と梅林へ。満開に咲く枝もある中、梅の種類、鑑賞の仕方、梅にまつわる歌や句など分かりやすく説明して頂きました。幹についているウメノキゴケは病気ではないことも伺い、大変勉強になりました。

早春を満喫し、梅の知識も得て、ランチも美味しく、良い一日となりました。

その後は梅の種類が気になり、一重野梅?八重野梅?白加賀?と近所のお庭に咲く梅を見上げながら、ウォーキングを楽しんでいます。良い研修企画をありがとうございました。(T・M)



【市民会館花壇管理】

今年度最後の植栽を、年の瀬も迫った12月21日に行いました。

新年に向けてプランターには、ハボタン、パンジー、サントリーナを植え新春らしさを、又、会館の壁際の花壇には、色とりどりのパンジーを主役に、ゴールデンモップやハツユキカズラを入れました。常緑のものは、アクセントにもなり、又、端境期の時の寂しい花壇をカバーしてくれる強い味方です。当初は、小石の多い花壇でしたが、毎回作業開始前に全員でバケツ一杯分の小石を取り除き、会員の市原園芸さんのアドバイスでもみガラ等を入れるなどして土壌改良を重ねてきました。又、ダンゴムシやヨトウムシにも悩まされましたが、オルトラン等で駆除作業をしました。参加メンバーが少なくなって参りました。近々(市民会館・作業日程)をお送りしますので、よろしくご協力をお願いいたします。「花びと会ちば」の看板、リニューアルしましたのでご覧ください。

【ちはなちゃんの誕生会】

日時：2020年11月21日 会場：千葉公園蓮華亭



ちはなちゃんは、千葉市の花「オオガハス」の妖精で、誕生日は11月21日です。年齢は?初めての誕生会を行いました。ちはなちゃんとの撮影会、ぬり絵、缶バッジ作りが行われました当日は、沢山のちびっこで賑わいました。近くの保育園児もお祝いに来てくれました。

又、VR専用のゴーグルでオオガハスの満開の風景を鑑賞して頂きました。

【イベント情報】

- 4月：花壇コンクール募集
- 5月：ハス守りさん養成講座の募集
- 6月：大賀ハスまつり・YohaS(詳細未定)
- 7月：花園ハス祭り観蓮会 園芸講座
- 8月：千の葉芸術祭

令和3年 大賀ハスまつり
 期間：6月19日(土)～27日(日)
 場所：千葉公園蓮華亭及び綿打ち池

個人会員&賛助会員 募集!

花や緑に関心のある方一緒に活動しませんか。
 研修会、講座、講演会等を開催しています。

- ◆個人会員 年会費:1,000円
- ◆賛助会員 個人:年会費:3,000円
 団体・企業年会費:5,000円

花びと会ちば事務局
 「千葉市都市局公園緑地部緑政課」
 Tel043-245-5753 Fax043-245-5885
midoritohana@city.chiba.lg.jp